

令和 7 年度首里城扁額製作検討委員会

第 1 回 検討委員会資料

2025年9月10日(水)9:30 - 11:30

【資料 4】 3 枚目製作体制について

1. 体制の検討について
2. 製作体制

- 3枚目製作体制の検討にあたっては、2枚目製作体制の検討時に得られた知見や経験を活かしつつ、引き続き以下の視点を重視した体制構築を目指す。

2枚目体制検討時（R6第2回委員会）資料より引用、一部編集

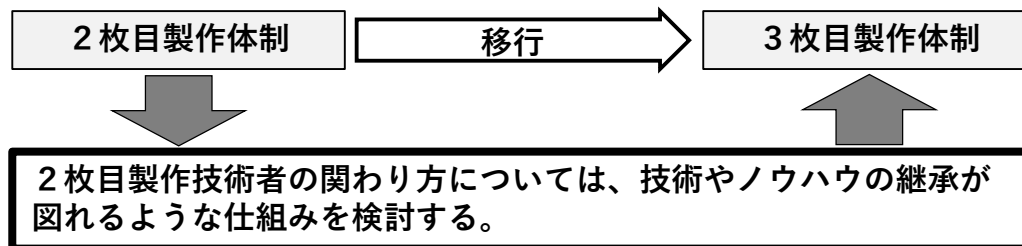
◆体制構築の視点

- 1枚目では、①前回の扁額製作に従事された方(前回製作者)、②直近10年間に於ける琉球王国文化に係る復元事業に従事された方、①②を満たす方から推薦を受けた方の中から、監修者や製作技術者を選定。
- 2・3枚目の製作においては、上記に加え、県内における技術やノウハウの継承を考慮した製作体制構築を目指す。
- 技術・ノウハウを継続的に継承していく体制・環境のある県内団体・組織(沖縄県立芸術大学(※)、沖縄県工芸振興センター等)への協力体制強化を中心に検討を行う。
- その他、個人で活動する県内技術者等の参画についても、委員・監修者・学識者等の推薦を得ながら、引き続き検討する。

※国、県、沖縄美ら島財団、沖縄県立芸術大学で首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定を締結しているほか、首里城復興基金事業における木彫刻物について、沖縄県立芸術大学が製作している。製作には大学に所属する熟練技術者、若手技術者が携わり、県内での「技術継承」や「人材育成」に寄与する形で事業が進められている。

◆2枚目製作技術者との協力体制について

3枚目製作体制の構築に伴い、2枚目からの製作体制の移行が発生する。2枚目製作技術者との協力体制については、以下の連携を想定する。



2 枚目製作体制、3 枚目製作体制

- 2 枚目の製作体制は下表の体制で決定し、製作作業が進捗している。
- 3 枚目の製作体制については、本委員会で決定。

分野	種別	1枚目技術者 「中山世土」	2 枚目技術者 「輯瑞球陽」	3 枚目技術者 「永祚瀛壖」	監修者
		(若手技術者)	(若手技術者)	(若手技術者)	
文 字 ・ 落 款	題 字	盛島高行	幸喜洋人	上間志乃	盛島高行 幸喜洋人
	御 印	幸喜洋人	幸喜洋人	幸喜洋人	
木 工 ・ 彫 刻	木工・仕口	高良輝幸	高良輝幸	高良輝幸	波多野泉 大城直也 岡田靖
	額縁彫刻	杉浦誠	沖縄県立芸大 杉浦誠、長尾恵那、伊波調	沖縄県立芸術大学所属技術者	
		(東京藝術大学 李品誼)	(沖縄県立芸大 小泉 ゆりか)	(同上)	
	題 字	仲宗根正廣 (安本篤人)	沖縄県立芸大 伊波 調	沖縄県立芸術大学所属技術者	
髷 漆 ・ 加 飾	髷 漆	諸見由則	諸見由則	沖縄県立芸術大学所属技術者	當眞茂 諸見由則
		(沖縄県立芸大卒業生、沖縄県 工芸振興センター修了生等)	(沖縄県立芸大卒業生、沖縄県 工芸振興センター修了生等)	(沖縄県立芸大卒業生、沖縄県 工芸振興センター修了生、2 枚目 製作に携わった若手技術者等)	
	加飾・堆錦	宇良英明	宇良英明	沖縄県立芸術大学所属技術者	